

< あなたの治療について >







耳・口 - Cmab/PTX - 頭頸部 - q1w

今回の治療は、Cmab/PTX療法という治療法で、アービタックス（C225）とパクリタキセル（PTX）注射薬を併用して行います。アービタックス、パクリタキセルは、共に腫瘍の増殖を抑えるお薬です。2つの薬を組み合わせることによって、より効果を高めることができます。

治療全体の流れ

今回の化学療法は1週間が1コースとなっています。各コースの1日目に点滴を行います。この治療を1週間（7日間）ごとに繰り返します。副作用が強くなったり、体調がすぐれない場合は回復するまで、治療を延期したり、お薬の量を減らしたりすることがあります。

1コース分の治療スケジュール

順序	薬剤商品名 (薬の作用)	投与	1日目	2~7日目
	レスタミン (アレルギーを抑える薬)	内服		お休み
	デキサート ファモチジン (アレルギー予防・ 吐き気止め)	点滴 約15分		
	グラニセトロン (吐き気止め)	点滴 約30分		
	アービタックス (抗がん剤) 初回400mg/m ² 2回目以降250mg/m ²	点滴 初回約2時間 2回目から 約1時間		
	生理食塩液 (電解質)	点滴 初回約1時間 2回目から 約15分		
	パクリタキセル (抗がん剤) 80mg/m ²	点滴 約1時間		

点滴中や点滴後に、注射部位が痛い、赤くなってはれる、水ぶくれができる、ただれるなどの症状に気づいたときは、すぐに申し出てください。また点滴中は、腕を動かすことにより針がずれ、点滴漏れが生ずることがありますので気をつけて下さい。

起こりやすい副作用について（頻度20%以上）

アービタックス、パクリタキセルについて

白血球数減少、好中球数減少 低マグネシウム血症 リンパ球減少

ざ瘡、発疹、皮膚乾燥、そう痒症 爪囲炎 食欲不振、悪心 下痢 口内炎 疲労

末梢神経障害 関節痛 脱毛

*ざ瘡、発疹、皮膚乾燥、そう痒症 爪囲炎などの皮膚障害については、別添の資料を参照して下さい。

特徴的な副作用について

アービタックスにおける

infusion reaction

「気管支痙攣、蕁麻疹、低血圧、意識消失、ショック」などの症状

*** 異常を感じた時はすぐに知らせてください。また、症状の予防として、本剤投与前に抗ヒスタミン剤の服用とステロイドの注射を行います。**

パクリタキセルにおける

過敏症状

呼吸困難、胸痛、低血圧、頻脈、徐脈、潮紅、血管浮腫、発汗等

*** パクリタキセルを点滴する前に過敏症の予防薬を使用します。**

刺激伝道障害

高血圧、低血圧、徐脈など

関節痛・筋肉痛

症状は一般に、投与開始後2, 3日後にあらわれ、また、早期のクール(1~3クール目)より発現する傾向にあります。

末梢神経障害

「手足のしびれ感、灼熱感、痛み：物がつかみづらい、歩行時につまづくことが多い」などの症状

*** しびれがひどくなり、生活上の支障が出てきたときは必ず医師・看護師・薬剤師にご相談下さい。**

アルコール過敏症

この薬は水に溶けにくいいため、アルコールを使って溶かしています。注射時のアルコール消毒で皮膚が赤くなる方、少量の飲酒で顔や全身が赤くなったり、具合が悪くなったりする方はお知らせください。

また、注射後、眠気やめまいなどがおこることがありますので、注射のあとは自動車の運転や危険を伴う機械の操作は避けて下さい。

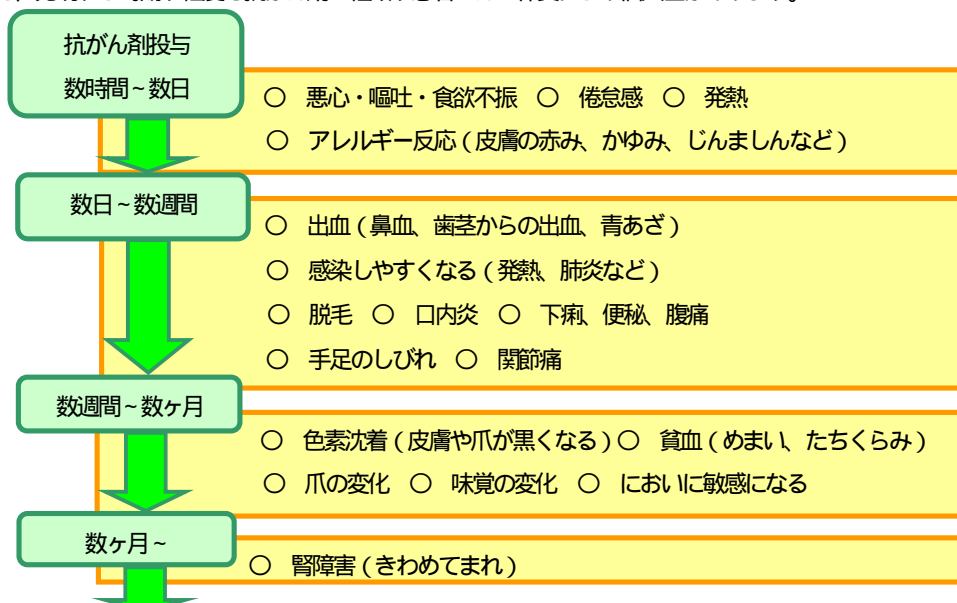
*** 上記症状が現れたときは、必ず医師・看護師・薬剤師にご相談下さい。**

副作用の発現時期の目安

*この図は、今回用いられている抗癌剤による副作用だけでなく、他の抗癌剤によって起こる副作用も含まれています。

これらの副作用がすべてあらわれるわけではありません。

また、発現する時期や程度も抗癌剤の種類や患者さんの体質により個人差があります。



副作用の対策について

吐き気・嘔吐，下痢と便秘，口内炎，感染症，出血，貧血，脱毛などの副作用の対策について知りたい方は、資料をお渡しすることができますのでお申し出下さい。

**薬品毎の副作用について（添付文書における重大な副作用を製薬会社作成「薬のしおり」などから抜粋）
まれな副作用ですが、この様な症状が現れた際には医師・薬剤師・看護師へご相談下さい。**

【アービタックス】

- <アナフィラキシー様症状>急に呼吸が困難になる、蕁麻疹、血圧低下
- <皮膚症状>ざ瘡様(にきび様)皮疹、皮膚の乾燥及び亀裂（炎症性及び感染性の症状が続く）
- <間質性肺疾患>咳が続く、息苦しい、発熱、から咳がでる

【バクリタキセル】

- <ショック、アナフィラキシー様症状>急に呼吸が困難になる、胸痛、血圧低下、脈が速くなるあるいは遅くなる、顔などがほてる、むくみ、発汗
- <白血球減少等の骨髄抑制>熱がある、さむけがする、のどが痛い、咳が出る、排尿時痛、出血しやすい、血が止まりにくい、貧血
- <末梢神経障害>手足の痺れ、服のボタンかけができない、手先の細かい作業に支障
- <間質性肺炎、肺線維症>咳が続く、息苦しい、発熱
- <急性呼吸窮乏症候群>急に呼吸が困難になる
- <心筋梗塞、うっ血性心不全、心伝導障害、肺塞栓、血栓性静脈炎、脳卒中、肺水腫>動悸、息切れ、胸痛、息苦しい
- <難聴、耳鳴>聞こえにくい、耳鳴りがする
- <消化管壊死、腸管穿孔、消化管出血、消化管潰瘍>激しい腹痛、下血
- <重篤な腸炎>激しい腹痛、下痢
- <腸管閉塞、腸管麻痺>食欲不振、悪心・嘔吐、著しい便秘、腹痛、腹部膨満
- <肝機能障害、黄疸>黄疸が出る
- <膵炎>上腹部の激痛
- <急性腎不全>尿が出なくなる、血尿が出る
- <皮膚粘膜炎候群、中毒性表皮壊死症>手足に輪状の紅斑、発熱、下痢、やけどのような症状
- <播種性血管内凝固症候群>出血しやすい、血が止まりにくい

上記のほかにも副作用が現れることがあります。

他にもからだの異常を感じたら、主治医や薬剤師、看護師に相談してください。